



LEICA Q3 LEICA Q3 43

FIRMWARE UPDATE 3.0.0

NEW

USBオーディオ：

新たに以下のRØDE社のUSBオーディオ製品に対応

- VideoMic GO II
- VideoMic NTG
- Wireless GO II
- Wireless ME
- および互換性のあるUSBマイク

改善機能

撮影モード：

1コマ撮影の際のブラックアウト時間を約310msから約250msに最適化

ファームウェア：

ファームウェアの不具合を修正

専用アプリLeica FOTOSへの接続：

他のスマートフォンがすでにカメラのWi-Fiに接続されている場合、Leica FOTOSに接続できないという問題を解決

連続撮影：

15 fpsに設定時の撮影開始遅延を700ms短縮

オートフォーカス：

iAFのパフォーマンスを向上フォーカス遅延を低減し、トラッキングパフォーマンスを向上

AF/AEロック：

一度AFロック機能をオンにすると、再度ロック機能を割り当てたボタンを押すか、AFフレームを移動させるまでAFはロックされ続けます。本機能はAF-L + AE-LとAF-L設定時に適用されます。AEロック機能の場合は、AFフレームを移動してもAE-Lは有効のままとなります。

AFフレームサイズ：

設定したAFフレームサイズをユーザープロファイル (SDカードとカメラ内) に保存可能に

タッチAF：

フォーカスリングが「MF」に設定時でも、アプリ経由でタッチAFが使用可能に

USBモード：

初期設定を接続時に選択に変更

Exif 3.0：

Exif 3.0およびGPSバージョン 2.4.0.0に対応

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

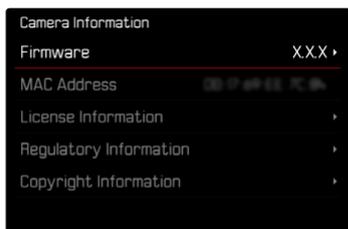
最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 案にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューでカメラ情報を選択する。
 - メニュー項目ファームウェアの隣に、バージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。

専用アプリ「Leica FOTOS」から

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

→ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- アップデートはカメラメニューからもできます。

カメラメニューから

使用前の準備

→ バッテリーを満充電し、カメラに入れる。

→ メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。

- メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。

(注意：データ消失！フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)

→ 最新のファームウェアをダウンロードする。

→ メモリーカードに保存する。

- ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。

→ メモリーカードをカメラに挿入する。

→ カメラの電源を入れる。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- **カメラ情報のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。**

カメラのファームウェアをアップデートする

- 準備する。
- メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- **ファームウェア**を選択する。
- **アップデートを開始**を選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- **はい**を選択する。
 - **プロファイル情報を SDカードに記録しますか?**というメッセージが表示されます。
- **はい**または**いいえ**を選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 処理中はLEDランプが点滅します。
 - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

メモ

- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- Leica FOTOSからアップデートする場合は自動で設定されます。

オーディオ設定

USBオーディオ



外付けUSBマイクを使用するには、メニューで機能をオンにする必要があります。メニュー項目が**USBマイク**に設定されると、システムが自動的に内蔵マイクから外付けマイクに切り替わります。

初期設定：**オフ**

- メインメニューで**カメラ設定**を選択する。
- **USB設定**を選択する。
- **USBマイク**を選択する。
- **オン**を選択する。

メモ

- 動画撮影中にUSBマイク接続が切断された場合、USBマイクを再接続しても音声データは動画ファイルに保存されません。その際には対応する警告メッセージが表示されます。この場合、録画を停止し、再度開始してください。
- カメラメニューが**USBマイク**に設定されている限り、**PTP**、**MFi**、**マスタストレージ**などの他のUSB機能は使用できません。
- USBマイクが1チャンネルしかサポートしていない場合、カメラは同じ音声データを1チャンネルから2チャンネルにコピーします。
- USBマイク使用条件：サンプリングレート：48kHz、ビット深度：8、16、24、32、チャンネル：1、2

アプリLeica FOTOS経由でMFモード時にタッチAFを使用する

フォーカスリングが「MF」に設定時でも、アプリ経由でタッチAFが使用可能になりました。一時的にAFモードに切り替わります。その際はモニターと電子ビューファインダーにAFシンボルが表示されます。

カメラはレンズのフォーカスリングを回すまでAFモード設定となります。

メモ

- 再生モード時もカメラは一時的にAFモード設定のままとなります。